

令和7年度
学校だより No.7

北山っ子

茅野市立北山小学校
令和7年10月3日(金)
校長 宮坂 哲生



たくさんの応援をありがとうございました

9月19日の運動会では、皆様の温かな声援や拍手が、一人一人の背中を押してくれました。最後まで全力で走り抜ける姿、仲間と声をかけ合い協力し合う姿、体を動かすことを楽しみ自分らしさを発揮する姿。子どもたちは、本当によく頑張ったと思います。8月、9月と子どもたちは、昨日の自分より少しでも成長しようと努力し続けていました。その積み重ねが、当日の姿に表れていたと思います。



保護者の皆様には、暑い中でのPTA作業、準備・片付け、当日の応援団と、子どもたちを支えていただきました。保護者の皆様と共に、子どもたちを育てさせてもらっていることを改めて感じます。



縦のつながりの中で育つ

運動会は、表現も競技種目も連学年で行いました。縦のつながりの中で成長する子どもたちの姿がありました。運動会当日の姿は多くの方にご覧いただいたので、運動会に向けた学習でのいくつかの場面を紹介します。

1・2年の表現では、2年生のある子は、入場の時から1年生にどこに並ぶのかを伝え、絶えず気を配っていました。立ち位置についてからも、心配そうに横を向いています。自分の踊りはほぼ完璧で、ダンスしながら1年生に気を配っていました。そんな2年生に見守られ、1年生も、体を動かす楽しさを存分に感じている様子が伝わってきました。やる気にあふれた子どもたちの姿でした。



3・4年生の競技種目には、いろんな運動の要素が入っていました。二人縄跳びで、3・4年でペアを組んでいる子たちは、3年生の子がうまく跳べなくても、4年生の子が決して責めず、できるようになるのを根気よく支えていました。休憩時間に練習している子たちもいました。嬉しいのは周りの子が放っておかないことです。コツを伝え、一緒にジャンプし、できたら共に喜ぶ。一体感が生まれていると思いました。競技をしているとき、子どもたちは「行けるよ」って応援します。ポジティブな言葉だと思いました。



5・6年の表現では、子どもたちが全身で自分を表現しようとしていました。特に6年生の曲への入り込み方はさすがで、曲が流れる前からその世界に浸っていました。その姿を見て5年生も、休憩の時間に友達と動きを確認するなど前向きに取り組んでいました。学習が自分事になっていると感じました。隊形移動する際も、先生の指示でなく、自分たちで場所を確認し動こうとする姿をととても頼もしく思いました。



自分の命は自分で守る

10月1日に、交通安全教室がありました。交通安全教育支援センターの皆様には、自分の命を守るために大切なことを教えてもらいました。よく考え、よく聴いている全校の姿はとても立派でした。今まで知らなかった内容もあり、共有させていただければと思います。

- ・横断歩道がない所は、遠くまで見通せる場所で渡る。
- ・歩道は車から遠い所を歩く。
- ・横断の真ん中で信号が点滅したら早歩きで渡り切る。
- ・信号が青でも、曲がってくる車に気をつけて渡る。
- ・道路の左側を歩く時は、後ろから来る車に気をつける。
- ・車は右側から近づく為、横断歩道では右手をあげる。
- ・自転車に乗る際、ヘルメットは水平に被る。アジャスターはあごの下ではなく、耳たぶの下で合わせる。指1本か2本が入るまで締める。



子どもたち一人一人が、かけがえのない宝物です。教わったことを毎日の生活に生かし、自分の命を自分で守っていくことを子どもたちと確認しました。



北山小美術館

前号でお伝えしましたように、職員玄関奥のスペースで、蓼科在住の小川徳男さんの、「截金(きりかね)」という技法で作成した仏様の絵を展示しています。

「来迎図」という作品を見て、5年生の男の子は「パレードみたい」と言いました。固定観念にとらわれない面白い見方だと思いました。絵を見ることに答えはなく、その子の思った事が答えです。子どもたちには、ぜひ本物に触れさせたいと思います。



10月10日(金)まで展示しています。昇降口を入った正面です。保護者の皆様には、お迎えや学校に用事がある際にお気軽にご覧いただければと思います。地域の皆様にも、お気軽に足を運んでいただければ幸いです。

また、10月27日(月)～11月7日(金)の2週間、今度は糸萱在住の伊藤傳さんの作品を飾らせていただく予定です。令和6年度に茅野市美術展で市長賞を受賞した方です。お気軽に、多くの方に足を運んでもらえればと思います。お待ちしております。



愛知県のトヨタ学園の皆様が、ボランティアで校内の清掃活動を行ってくれました。感謝です。